槌田劭さんの講演

きちんと知ろう～原発と放射能～

福島事故の現実を前に、どのように生きる

３月 11 日の東日本大震災。
大津波、福島の原発事故から７か月たちました。いまだに遅々として進まない国の動き。それだけではなく、1986 年のチェルノブイリ原発事故のように他人事になってきているのではないか。
槌田さんが、実際に、福島に２度行かれてからの出会いの中での話等聞きながら、今こそ、人がつながる時ではないのかと思っていました。
どうぞ、槌田さんのお話にご参加下さい。

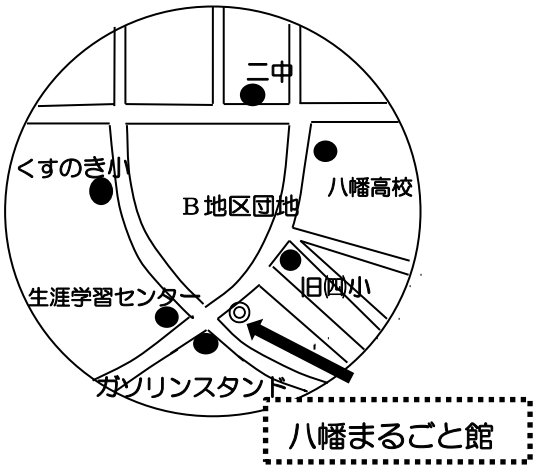
槌田劭さん

1935 年生まれ
1973 年使い捨て時代を考える会を設立。現在相談役
前京都大学工学部助教授(金属物理学)
前京都精華大学教員(環境社会学)
1978 年伊方原発裁判に原子炉心担当原告側証人として関わる。
著書に『脱原発・共生の道』(2011　新版)など

30 人程の定員です。（会場の広さから）
参加される方は、まるごと館にお電話下さい。

＜日時＞　11 月 12 日(土)10 時～12 時 30 分

＜場所＞　八幡まるごと館　男山松里 12－20
ＴＥＬ，ＦＡＸ　075-983-3664
Ｅメール　yawata@marugotokan.com



樟葉駅　バス３番乗り場
・中ノ山循環　バス停弓岡南へ徒歩２分
・男山南右･左まわり　バス停くすのき小学校から生涯学習センターへ。前の信号を八幡高校側に向かって徒歩１分

＜参加費＞　200 円

八幡まるごと館/NPO 法人使い捨て時代を考える会

(使い捨て時代を考える会)
京都市下京区冨小路通仏光寺下る筋屋町 141
TEL075-361-0222

使い捨て時代を考える会とは

「モノの使い捨て」･･「使い捨て」に象徴されるこの「時代」を問い直そうと、1973 年京都に設立された。以来食と農、健康、環境問題などさまざまな活動に取り組んでいる。
生産者と消費者がともに喜び合える関係を築いていきたい。この関係を実現するために、会員が出資して安全農産供給センターを設立し、有機農産物、国産無添加食品の共同購入事業を行っている。
(使い捨て時代を考える会のパンフレットより抜粋)
震災後、『簡素な暮らしでいのちを守ろう－全ての原発を廃炉に－』を会総会にて緊急決議する。
脱原発のための取組を行っている。